

2017年 9月 12日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社はくばくに「S M B C食・農評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社はくばく（代表取締役社長：長澤 重俊）に「S M B C食・農評価融資」を実施しました。

「S M B C食・農評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の食・農取組を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、取組内容に関する今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった株式会社はくばくは、「経営層のコミットメント」、「消費と供給の合理化」、「食の安心・安全に対する姿勢」において高い水準であると判断され、企業経営において優れた食・農取組を実施されているとの評価になりました。

特に、 麦類をはじめとする国産穀物の商品化に注力され、雑穀ごはんや大麦グラノーラなど付加価値の高い新商品を継続的に開発・販売されている点、 黒米を山梨県内で生産する取組を産地と連携して進めることで流通の効率化・産地の活性化の両立に貢献された点、 大麦推進協議会を中核的な企業の1社として設立され、企業間連携による技術研究や官民連携の取組について積極的に推進されている点、 が高く評価されました。

三井住友銀行では、「S M B C食・農評価融資」により、日本の「食生活の向上」及び「農水産業の強化」に繋がる取組を、金融を通じてご支援して参ります。



国産穀物の商品化



産地連携による生産
(山梨県内)



大麦推進協議会での取組

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。